

企業家研究フォーラム 2024 年度冬季部会大会

日時：2024 年 12 月 1 日（日）13:30～17:10

場所：成城大学 3 号館 2 階 322 教室（東京都世田谷区成城 6-1-20）

小田急電鉄小田原線成城学園前駅より徒歩 4 分

参加費：無料（懇親会は別途有料）

共催：経営史学会関東部会

協賛(予定)：公益社団法人自動車技術会

テーマ

「日本の基幹産業再考：自動車産業の歩みと将来（流通および環境問題に注目して）」

昨今、半導体産業の強化などが話題になっているものの、日本の製造業における基幹産業は自動車であるということはゆるぎない事実である。工業統計表に基づけば、自動車産業を含む輸送用機械器具は、出荷額において第 1 位（63 兆円）、付加価値額においても第 1 位（16 兆円）となっている。また、輸出金額も第 1 位の 21.6 兆円を誇り、エネルギーや食糧自給率の低い日本において大きな役割を果たしている。

一方で自動車を取り巻く環境は必ずしも安定的ではなかった。特に排ガスなどの環境問題は日本の自動車産業にとって大きな課題であったし、現在もカーボンニュートラルの実現という難題に直面している。また、日本の自動車産業は順調に成長したわけではなく、製造および販売の両面で多くの困難を乗り越えてきたのである。

そうした背景を踏まえて、本大会では今一度、日本の自動車産業の歩みを振り返り、その将来について考えることにしたい。今回は、特に流通および環境問題に注目して議論を深めていきたい。

プログラム内容

今回の冬季部会大会は、企業家研究フォーラムおよび経営史学会関東部会の共催、自動車技術会の協賛で開催される。今回は企業家研究フォーラム・自動車技術会の双方の学会より報告者を選定した。

企業家研究フォーラムからは、第 1 報告において関東学院大学の四宮正親教授より、自動車の販売を中心とした日本の自動車の流通に関する報告、第 3 報告において北海学園大学の板垣暁教授より自動車産業において重大な危機であった 1960～70 年代の環境・安全規制政策に関わる歴史についての報告を提供する。

自動車技術会からは、第 2 報告において慶應義塾大学の飯田訓正名誉教授（自動車技術会フェロー）より世界の先進国が経験した自動車の普及とそれに伴って発生した環境問題

についてその起源と歴史を振り返る報告，第 4 報告において成城大学の平野創教授（自動車技術会エネルギー部門委員長）よりカーボンニュートラルを踏まえた将来の日本のエネルギー構造と自動車への影響についての報告を提供する。

これらの報告後に，東京大学の粕谷誠教授（企業家研究フォーラム会長）のコメント後，全体討論を行いたい。

企画：平野創（成城大学経済学部）

司会：三科仁伸（拓殖大学商学部）

プログラム

- 13:30-13:35 趣旨説明 平野創（成城大学経済学部）
- 13:35-14:10 報告 1 四宮正親（関東学院大学経営学部）
「日本の自動車流通」
- 14:10-14:45 報告 2 飯田訓正（慶応義塾大学理工学部）
「自動車と環境問題」
- 15:00-15:15 （休憩）
- 15:15-15:50 報告 3 板垣暁（北海学園大学経済学部）
「自動車産業危機の時代と規制：
1960～70 年代の環境・安全規制政策とその意味」
- 15:50-16:25 報告 4 平野創（成城大学経済学部）
「カーボンニュートラルに向けたエネルギー転換と自動車」
- 16:25-16:35 コメント 粕谷誠（東京大学大学院経済学研究科）
- 16:35-17:10 全体討論

17 時 30 分より成城学園前駅周辺にて懇親会を予定しています

※参加学会の紹介

- ✓ 企業家研究フォーラムは，イノベーションの担い手であり，経済・社会発展の原動力である「企業家」ないし「企業家活動」についての研究を主たるテーマとしている。
- ✓ 経営史学会は，企業経営の歴史，その他さまざまな組織の歴史を，その過程に参画する諸主体に力点を置きながら研究を主体としている。
- ✓ 自動車技術会は自動車に係わる科学技術の調査・研究・成果発表の場を提供している。

交通アクセス

(駅からのご案内)



(キャンパスマップ)

